

気象技術講習会開催のお知らせ

(社)日本気象学会は、(財)気象業務支援センターと共催で、初心者を対象とした講習会を以下の要領で実施する。

1. 講習会名称：気象技術講習会「気象学の基礎」
課程（第5回）
2. 講習内容：気象技術習得のための気象学とそれに関する数学・物理の基礎を解説する入門講座
3. 期間：平成14年3月13日（水）～5月8日（水）
までの毎週水曜日（全9回）
（講習終了後、レポートを提出して頂き（希望者のみ）、合格者に「修了証」を発行する）
4. 時間：14時～17時
5. 受講料：1人36,000万円（教材費込み、税別）
6. 講習会場：(財)気象業務支援センター4階会議室
東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル
（地下鉄東西線竹橋駅下車徒歩3分）
7. 定員：40名（定員になり次第締切）

8. 申込締切：平成14年3月4日（月）当日消印有効
9. 申込方法：「気象学の基礎課程」受講希望と明記し、必要事項（住所、氏名・ふりがな、電話番号、勤務先/学校名、年齢）を書いて、以下の申込先にハガキまたはFax。あるいはE-mailで申し込んでください。
10. 申込先：〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル
(財)気象業務支援センター
「基礎課程講習会」係
Fax：03-5281-0443
E-mail：methiroba@jmbsec.or.jp
詳細は(財)気象業務支援センター (<http://www.jmbsec.or.jp>) 及び(社)日本気象学会ホームページ (<http://www.jssst.or.jp/msj/>) に掲載。案内書は上記申込先にハガキまたはFax。で請求してください。

支部だより

関西支部第23回夏季大学報告

関西支部では、第23回夏季大学を大阪管区気象台及び(財)日本気象協会の後援で、7月24、25日の両日開催した。

今年は「気候変動」をテーマとし、24日に鬼頭昭雄氏（気象庁気象研究所）「気候システムの基礎とIPCC報告」、和田武氏（立命館大学）「地球温暖化防止対策の現状と課題—CO2削減エネルギー対策を中心に—」、25日に木田秀次氏（京都大学）「気候変動のメカニズムと数値実験」、花輪公雄氏（東北大学）「海洋と気候変動—海を知り、気候を語る—」の計4講義を実施した。

1日目43名、2日目35名と例年より少なかったが、下は10代後半から上は70代後半まで幅広い年代層の受

講者が集まった。今回の講義はマスコミ等に多く取り上げられる気候変動に関する興味を引く内容であったため、参加者が少なかったにもかかわらず、時間を大きくオーバーしての活発な質疑応答が行われた。「良かった」「わかりやすかった」という感想が終了後のアンケート回答では多かった。また、改善点もいろいろと指摘され、今後取り上げてほしいテーマもたくさん寄せられているので、それらを参考にして来年度に向けての取り組みを行っていく予定である。

終わりに、多大な協力を頂いた後援の機関、講演いただいた講師の方々に深謝する。

(関西支部)